

お知らせ

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ九州

NTT データ九州とウイングアーク 1 s t が 統合 ERP ソリューション「BeAd」と国内トップシェア帳票基盤ソリューション 「SVF」を連携し提供開始

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ九州（本社：福岡市博多区、代表取締役社長 常盤圭史、以下 NTT データ九州）は、ウイングアーク 1 s t 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 田中 潤、以下ウイングアーク 1 s t）が提供する帳票基盤ソリューション「SVF」と NTT データ九州が提供する統合 ERP ソリューション「BeAd」シリーズを連携し提供開始したことをお知らせします。

【背景】

10,000 社以上の販売実績を有する「intra-mart」を基盤に NTT データ九州が開発している「BeAd」シリーズは、中堅・成長企業様向けの ERP 製品として展開しており、販売管理や顧客管理などの業務系システムパッケージを中心に、情報系システムなどと連携することで、情報を最大限に活用できるアプリケーション群として、全国に導入企業を増やしています。

「BeAd」シリーズは柔軟なカスタマイズにより個社ノウハウを反映したシステム作りができる一方、帳票においてもアドオン・カスタマイズが多くなるため、帳票関連の開発生産性向上が課題となっていました。

そんな中、かねてより取引のあったウイングアーク 1 s t より、帳票基盤ソリューショントップシェアである「SVF」を活用した帳票開発工数の削減に関する提案があり、検証の結果、「BeAd」シリーズにおける標準の帳票ツールとして「SVF」を採用することとしました。

【今後について】

「BeAd」シリーズを利用するプロジェクトにおいて、帳票作成にかかる開発工数が従来と比較して 20%程度削減できた実績があり、アドオン・カスタマイズ開発の生産性向上に効果を発揮します。

また、「SVF」は帳票基盤ソリューションとして高いシェアを保持していることから技術者の数も多く、安定的な開発体制の維持にも寄与します。

今後は、NTT データ九州とウイングアーク 1 s t の連携により、BeAd シリーズと SVF 以外の製品（データ分析基盤である Dr.Sum や、BI ダッシュボードの MotionBoard 等）を組み合わせ、さらなる事業拡大を目指す中堅企業の基幹システム刷新、ならびにデジタル化を継続的にサポートしていきます。

■「BeAd」について

BeAd シリーズとは、システム共通基盤『intra-mart』をベースとし、NTT データ九州独自の開発フレームワーク『BeAd 基盤』上で構築された業務アプリケーションの総称です。販売管理や顧客管理などの業務系システムと、ポータルやグループウェアなどの情報系システムを同一基盤上で実現する、セミオーダー型の WEB アプリケーションです。

【関連リンク：<https://bead.jp/>】

■SVF について

「SVF」は、商取引において発生する請求書、納品書、発送伝票や、公的機関が発行する各種証明書などの各種帳票類の設計から出力にいたるまでをオールインワンで実現する帳票基盤ソリューションです。20 年以上にわたり企業の基幹業務を支え、国内トップシェア（※1）を保持し、累積で約 32,900 社（※2）に導入いただいています。

※1 株式会社デロイトトーマツミック経済研究所

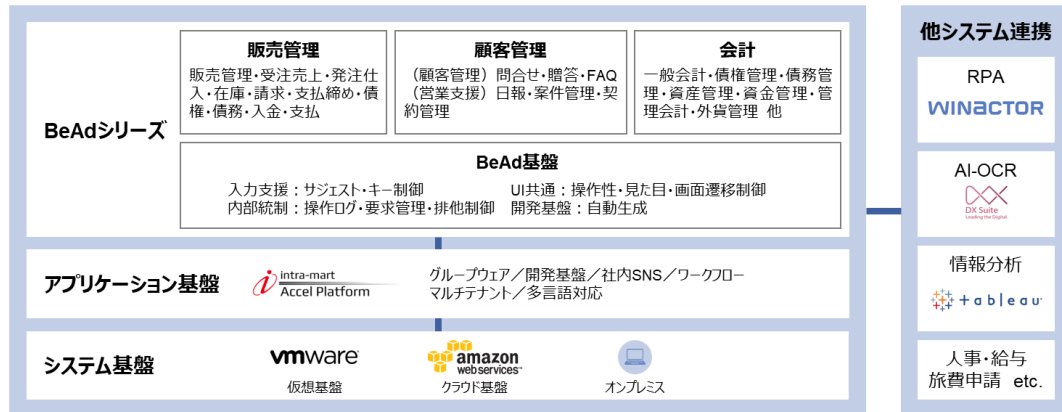
「帳票設計・運用製品の競合調査 2022 年度版」（帳票運用製品）

※2 パッケージ版とクラウド版の合計値（2023 年 2 月末）

【参考資料】

・ BeAd シリーズ全体構成

BeAd全体構成



本件に関するお問い合わせ先

法人システム事業部 第一ビジネス統括部 営業担当

平田、松本

TEL：092-475-5164

Mail：bead-sales-ndq@hml.nttdata-kyushu.co.jp

*文中の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。